



宇企第385号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長
宮田年耕 殿

宇和島市長 石橋 寛久



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け、国道企第114号でご依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

今後の道路施策や道路の整備・管理について

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

重点化という点に関しましては、繋がっていない四国8の字ネットワークの早期完成だと思います。

特に、私たちの住む地域におきましては、宇和島以南に鉄道もなく、国道56号が唯一の幹線道路であり、地域住民の生命路線となっております。

救命・救急時はもとより、近い将来必ず発生すると心配されている「東南海・南海地震」発生時には、災害に強い道路がなければ、陸の孤島となることは確実視されており、大変心配をしております。

また、人的交流・物的流通の点からも他地域との対等な競争力が得られ、地域間格差是正にも繋がるものと確信しております。

是非とも道路特定財源を必要額確保し、整備を強力に進めていただきたいと考えております。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

私の知る限りにおいて、必要でない道路は存在しないと認識しております。一方、道路整備を行う上で、その道路整備の費用対便益を十分検討する必要があります。

その意味からも、四国8の字ネットワークの完成は、既開通路線の利便性の向上にも繋がることから、今後においても、時代に即し、また地元の意見を重視した道路整備を厳しい見直しを行いながら進めていく必要があると思っております。

例えば、道路の計画時から地域住民の意見を参考に進めていくP I方式により、津島～内海間の整備が進められていることと存じます。これをさらに、道路整備地域に広め、また、協議速度を落とすことなく効率化を進めていくべきであると考えております。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

(1) 宇和島市に九島という離島がございます。しかしながら離島とはいえ、陸地から400mしか離れておらず、現在は、JAが運営しているえひめ南汽船により、住民の交通手段を確保している状況でございます。

しかしながら、えひめ南汽船の所有するフェリーも老朽化が進むとともに、原油価格の高騰など経営上の問題もございます。

地域の公平性を確保、そして、九島地区の発展のためにも、架橋は必要な事業であると考えております。

(2) 国土交通省関係各位のご配慮により、市内中心部においては、電柱の地中化を行っていただきました。これにより、見通しが良くなり、交通事故が減少してきているように感じております。さらに、景観という点においても、大変美しくなりました。

今後においても、是非、この電柱の地中化をさらに推進していただきますようお願い申し上げます。

(3) 関係各位のご努力により、今後も高規格道路の整備が着実になされてくるものと大きな期待を寄せております。

しかしながら、一方で道路整備がなされた分、その維持管理費用が多額になってまいります。

このような意味からも、是非必要な道路特定財源を確保していただき、更なる延伸、整備を期待しております。